

事業番号	13 01 01	事業改善シート (29年度実施事業分)	<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	電気事業	部局	企業局	課・室	電気事業課	
		実施期間	S33 ~	E-mail	kigyo@pref.nagano.lg.jp	
しあわせ信州創造プラン(総合5か年計画)						
プロジェクト	3-2-7 環境・エネルギー自立地域創造プロジェクト					
施策の総合的展開	3-1 低炭素で循環型の地域社会づくり					
	1 地球温暖化対策・環境エネルギー政策の推進					

### 1 事業の概要

現状 (予算編成時)	既設発電所の大規模改修や春近発電所のPFI活用に向けた基本構想策定など、経営戦略の着実な推進を図るとともに、県管理ダムを活用した発電所の建設や、県が行う省エネルギー対策の先導的取組への支援など、経営の安定と自然エネルギーの地消地産に積極的に取り組む。	29年度決算額	4,273,087 千円
		職員数	55.00 人
目指す姿	<p>○「長野県公営企業経営戦略」(平成28年2月策定)に基づき、水資源を有効に活用したグリーン電力の安定供給を行うとともに、新たな時代に挑戦する電気事業の礎を築く。</p> <p>&lt;既存14発電所&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・老朽化対策や耐震化など適切な改修による電力の安定供給・収益の確保、県内供給による自然エネルギーの地消地産の推進</li> <li>・高遠及び奥裾花第2発電所</li> <li>・信州発自然エネルギーとして大都市へ売電し、その利益を県民に還元する、大都市との未来志向の連携の推進</li> </ul> <p>&lt;地域貢献&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・将来の科学技術を担う子ども達への支援として、長野県こども未来支援機基金への繰出し</li> </ul> <p>○さらに、以下の取組により、経営の安定、自然エネルギーの地消地産、及び危機管理体制の強化に積極的に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・県管理ダムを活用した発電所の建設</li> <li>・新たな地域貢献として、県が行う省エネルギー対策の先導的取組への支援</li> <li>・本庁に危機管理対策推進員(県警OB)、現地機関に技術職の次長(危機管理担当)を配置</li> </ul> <p>(主な実施内容: 老朽化対策、耐震化の推進 など)</p>		

区分(単位:千円)	27年度	28年度	29年度	30年度	指標及びその達成状況							
					No	成果指標	27年度末	28年度末	29年度			
事業額	前年度繰越	112,396	477,332	197,253	43,205							
	当初予算	5,501,885	6,569,916	4,425,537	5,736,487							
	補正予算	-6,186	-277,454	-42,922								
	合計(A)	5,608,095	6,769,794	4,579,868	5,779,692	①	経常収支比率	112.8%	143.6%	146.5%	159.9%	達成
Aの財源	料金収入	3,039,969	3,926,768	3,962,141	3,862,418	②	損益(千円)	628,854	1,257,679	1,205,111	1,496,548	達成
	企業債	872,200	1,895,000	97,000	233,000	③	発電所建屋の耐震化率	71.4%	92.9%	93.8%	93.8%	達成
	その他(積立金等)	1,695,926	948,026	520,727	1,684,274	④	県管理ダムを活用した発電所の建設着手(箇所)	-	-	3	3	達成
決算額(B)	5,012,299	6,300,016	4,273,087									
概算人員費	職員数(人)	54.00	55.00	55.00	56.00							
	概算人員費(C)	-	-	-	-							
概算事業費(B(A)+C)	5,012,299	6,300,016	4,273,087	5,779,692								

成果指標設定理由	<p>「長野県公営企業経営戦略」(平成28年2月策定)に基づく指標</p> <p>①② 財政計画に基づき経常収支比率100%以上を維持し利益を確保</p> <p>③ 投資計画に基づく耐震化の推進</p> <p>④ 新規開発の推進</p>
----------	--

目標に対する成果の状況	<p>①②29年4月に運転を開始した新規発電所(高遠、奥裾花第2)が順調に稼働したことで、電力料収入は前年を上回った。一方で、修繕費等の費用が減少したため、損益は目標を達成するとともに、5期連続で過去最高益を更新した。</p> <p>③発電所建屋については、目標どおり耐震化を達成した。(西天竜発電所はH29~H31年度の建替工事により対応予定)</p> <p>④県管理ダム(横川、箕輪、片桐)を活用した新規発電所について、29年度はそれぞれ契約を締結し、設計等に着手した。</p>
-------------	---

### 2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施	
	課題	今後の方向性
	<p>発電所の平均的な償却年数とされる、建設から40年を経過する発電所が8箇所あることから、計画的な老朽化対策を推進していくとともに、再生可能エネルギーの供給拡大のため、新規電源開発の可能性を検討する必要がある。</p>	<p>既設発電所の改修に当たっては、固定価格買取制度の状況や改修期間中の減収を考慮し、適切な時期を設定して計画的に進める。また、新規電源開発の可能性を調査・研究し、経済性が確認された地点について検討を進める。これらにより生み出された利益の一部を活用し、積極的に地域貢献に取り組む。</p>

### 3 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	プロジェクトNo	細事業名	29年度 実施内容(実績)	職員数(人)	29年度		30年度(当初)		
					(当初)	(決算)			
1	3-2-7	電気事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・西天竜発電所大規模改修</li> <li>・県管理ダムを活用した発電所建設</li> <li>・春近発電所PFI活用基本構想策定</li> <li>・長野県こどもの未来支援基金への繰出し</li> <li>・省エネルギー推進支援積立金からの繰出し</li> <li>・危機管理対策推進員(県警OB、本庁)、技術職の次長(現地機関)の配置(電気・水道事業共通)</li> <li>・発電施設運転管理・巡視点検業務委託の拡充</li> </ul>	55.00	4,425,537	4,273,087	5,736,487		
1/1					合計	55.00	4,425,537	4,273,087	5,736,487